

事業概要【体力集計システム導入事業】

自治体名	長野県	人口	1,968,822人	事業費	8,800千円
事業概要	小・中学校、高等学校で実施する体力テストの集計システムを県で導入・運用する。これまでは5～6月のテスト実施後、児童・生徒への結果のフィードバックが12月以降とタイムラグが生じ、児童・生徒が結果を把握し体力向上に向け運動をするという取組につなげる効果が薄かった。新システムの導入により図式化したデータを即時取得することができ、個々に合わせた運動の提案ができるため個別最適な学びや体力向上へつなげることができる。				
具体的使途・実施体制等	【体力集計システム導入】（8,800千円） 1 体力テスト結果の即時集計・フィードバック ・児童・生徒が体力テストの記録を各自のタブレット端末から入力すると結果分析を即時取得することができる。 2 自身の強み・弱みを把握しやすいデータの提供 ・テスト実施後、自身の結果や平均との比較に加え、図式化されたわかりやすい結果分析から自身の強み・弱みを理解することができる。 3 体力テスト結果を踏まえた運動の提案 ・結果を踏まえ自身の強みを伸ばし、弱みを改善するための運動が提案される。提案をもとに自ら考え必要な運動を実施する。 4 再チャレンジ記録の反映 ・体力改善に向けた運動を実施したのち、再度テストを受け自身の体力の状態を確認することができる。		【実施体制等】 		
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 体力テストを受検後、再度テストにチャレンジする生徒の割合		【アウトカム指標（成果指標）】 システム利用児童・生徒の満足度		

事業概要【長野県公式ホームページへの対話型AIチャットボット導入事業】

自治体名	長野県	人口	1,968,822人	事業費	14,003千円
事業概要	県公式ホームページに、対話型AIを活用したチャットボットを導入する。現在、県では、あらかじめ設定したQ&Aに基づいて応答するシナリオ型チャットボットを運用しているが、想定外の質問には適切に答えられていない。AIが回答に必要な情報を自ら検索し、より自然な対話応答を行うチャットボットを新たに導入することで、県民や事業者が必要としている情報をいつでも簡単に入手できる利便性の高いホームページを実現する。				
具体的使途・実施体制等	【対話型AIチャットボット】（14,003千円） - 県政に関する情報について、県公式ホームページ上でチャット形式により質問し、回答を受け取ることができる - 原則、閉庁時間や休日も含め、24時間365日いつでも質問ができる - AIが会話の前後関係を踏まえ、自然で一貫性のある応答を行う - 利用状況（質問の傾向、未解決事例、評価等）を分析することで、チャットボット及びホームページ全体の利便性・検索性の向上につながる - 多言語（英語、中国語、ポルトガル語など）や音声での入出力にも対応し、外国人県民や文字入力が難しい利用者であっても、知りたい情報を簡単に入手できる 【実施体制等】				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①チャットボット利用件数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①チャットボットによる問題解決率		

事業概要【交番ネットワークカメラ整備事業2.0】

自治体名	長野県	人口	1,968,822人	事業費	49,014千円
------	-----	----	------------	-----	----------

事業概要

駐在所は警察署から遠隔地で比較的人口密度の低い山間地等に設置されているが、駐在所の約 8 割は単独勤務であり、勤務時間中は巡回連絡やパトロールなどの街頭活動で不在時間帯が多いことから、駐在所勤務員が不在の際でも、駐在所の風除室に設置されたネットワークカメラとマイク、スピーカーにより、勤務員が在所時と同等のきめ細かい住民サービスを受けることができ、緊急時には風除室を避難シェルターとして使用することで、暴漢から追われるなどして駐在所に助けを求め、風除室を避難シェルターとして一時的に使用することができる。

具体的使途・実施体制等

【交番ネットワークカメラ整備】（49,014千円）

駐在所勤務員が不在の際でも、駐在所の風除室に設置されたネットワークカメラとマイク、スピーカーにより、警察署に連絡することができ、勤務員が在所時と同等のきめ細かい住民サービスを受けることができる。

さらに、風除室を避難シェルターとして使用することで、暴漢から追われるなどして駐在所に助けを求め、風除室を避難シェルターとして一時的に使用することができる。

●設置予定箇所数
42駐在所へ設置予定

【実施体制等】

◆勤務員が不在でも風除室や玄関付近のマイク等を活用して勤務員が在所時と同等のきめ細かい対応を受けることができます。

◆緊急時には、風除室を避難シェルターとして使用することで、暴漢から追われるなどして駐在所に助けを求め、風除室を避難シェルターとして一時的に使用することができます。

◆通報を受けると、警察署のパソコンが自動的に反応し、身の危険を警察署に伝えることができます。

主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①新規に設置したネットワークカメラにより住民サービスを提供した件数	【アウトカム指標（成果指標）】 ①新規に設置した駐在所の地域住民の安心安全に係る満足度
--------	---	--

事業概要【長野県窓口キャッシュレス決済事業】

自治体名	長野県	人口	1,968,822人	事業費	18,121千円
------	-----	----	------------	-----	----------

事業概要	収入証紙に代わる納付手段として窓口へキャッシュレス決済端末を導入する。 長野県収入証紙は、県内にある収入証紙売りさばき所での現金購入の必要があるため、窓口来所する申請者等がワンストップで多様な決済手段により手数料等を納付できる環境整備を行う。				
------	--	--	--	--	--

具体的使途・実施体制等	【窓口キャッシュレス決済サービス】（18,121千円） ●窓口での各種申請手数料納付について、POSシステムを活用したキャッシュレス決済を導入する。 ●SIM通信接続可能及び持ち運び可能なモバイル型端末を導入することで、庁舎以外での出張申請受付にも対応可能とする。 ●キャッシュレス決済端末 1 台で各種決済手段が対応可能となる。 決済手段： クレジットカード、電子マネー、コード決済 ●設置予定場所 本庁舎、合同庁舎等 24施設 【実施体制等】 The flowchart details the operational workflow: An accounting officer (会計課) outputs and distributes payment codes (支払用コード). A staff member (手続担当課) distributes these codes to applicants at the window. Applicants then use the codes to pay at the cashless payment terminal (キャッシュレス決済端末 (SIM含)). The terminal performs code reading and payment (決済端末でコード読取・納付). Receipts (納付確認書類出力 (県民用・県保管用)) are issued. The staff member also provides information (情報照会) to the accounting officer. The terminal is connected to the POS system (POSシステム) for real-time payment information synchronization (納付情報はシステムにリアルタイム連携). The POS system also provides information (情報照会) to the staff member. The staff member manages the terminal (手続担当課 本庁舎管理課).				
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①窓口収納におけるキャッシュレス決済の利用割合 【アウトカム指標（成果指標）】 ①窓口におけるキャッシュレス決済端末利用者満足度				